

## 第2回 君津地区公民館運営審議会 会議次第

日 時 令和7年9月24日（水）  
午後2時30分から  
場 所 周南公民館 講堂

### 1 開 会

### 2 委員長あいさつ

### 3 公民館長あいさつ

### 4 協議

（1）令和7年度事業進捗状況について～重点分野を中心に～

（2）公民館の開館時間等について

### 5 その他

・今後の審議会予定について

第3回：12月22日（月）14：00～ 周西公民館

第4回： 3月19日（木）14：00～ 八重原公民館

### 6 閉 会



令和 7 年度 第 2 回君津地区公民館運営審議会  
資 料

君 津 中 央 公 民 館  
八 重 原 公 民 館  
周 西 公 民 館  
周 南 公 民 館

## 君津中央公民館 令和7年度事業経過報告(令和6年度答申を受けて)

### 1 今年度の重点取組分野について

#### 「人と人とのつながりの再構築」

同じ課題意識を抱えた人の交流の機会や、自治会館などを活用した地域に出向く事業を創出することで、地域ネットワークの再構築や地域自治能力の向上を目指す。

※主な予定事業「君津中央公民館だより『ひこぼゆ』発行事業」「子育て・家庭生活に関する学びとつながり事業」「身近な暮らしや地域のテーマに関する事業」「高齢者の暮らしの課題に関する事業」など。

### 2 重点取組分野の進捗状況

#### (1) 課題解決学習推進事業

##### 〈概要〉

答申で指摘された「目的性のある交流の場づくり」「同じ課題を抱える人々のつながりを、時間をかけて深めていく事業」に主眼を置き、①「子育て・家庭生活」、②「高齢者の暮らしの課題」、③「身近な暮らしや地域のテーマ」等の事業を展開する。

##### 〈現状・進捗状況、成果・課題〉

- ・①②は予定から大幅に遅れている。下半期からの始動に向け準備を進めている。
- ・③については、地域ぐるみでの障がいへの理解や、卒業後も障がい者が様々な活動ができる機会を望む声を契機に始動した「あいあいカフェ」が3年を迎えた。ボランティアは2名から7名となり、高校生、大学生の臨時ボランティアも生まれた。公民館利用団体以外のカフェ利用者、とくに障がいのあるリピーターが徐々に増え、初期目的に沿った展開となっている。カフェ売り上げによる地域福祉・ユニセフ等への寄付は上半期で27,000円程の見込み。(前年度年間総額52,843円)。
- ・「あいカフェ」を参考にした取組が「おらがわ」主催による地域活性化事業や周西地区における地域づくり活動でも始まり、他地域への広がりがみられる。

##### 〈今後の展開〉

①②③それぞれについて下記を展開する

#### ① (仮)「いっしょに話そ、考えよ～すぐそばにある“生きづらさ”について」

「とまり木おしゃべり会」の内容、方法を一部整理しながら発展的に展開。不登校のほか、引きこもり、子ども・大人が抱える様々な「生きづらさ」への理解を深め、地域で課題を共有できるつながりの醸成をはかる。(12月から4回程度予定)

#### ② (仮)「“元気”を見つけに、出かけよう！」

軽スポーツ、高齢期の暮らしのテーマなどを題材に、地域への出張型事業で高齢者および周囲の人が交流できる機会を提供する。(11月から、5回程度予定)

#### ③ (仮)「みんなでチャレンジ! “みんなチャレ!”」

身近な共生社会の実現を目指し、「障がい者の生涯学習」と「障がいへの理解を深める地域ネットワーク構築」の両面を織り交ぜた事業を展開。地域の施設と連携し、「一

緒に楽しむ体験活動」「障がい者本人・保護者それぞれが楽しむ活動」「保護者・周囲の人が課題を共有する時間」「地域との交流」の構成で展開。(11月から3回程度予定)

## (2) コミュニティ活性化事業・その他事業

### 〈概要〉

答申では、自治会加入者の減少、地域団体の衰退状況や、「地域そのものへの考え」の変化などが指摘されている。そこで、公民館だより『ひこばゆ』を通じ、地域の問題などを取り上げることで、身近な地域へ関心の醸成を図っている。また、青少年健全育成関連団体への支援として今後の活動のあり方の具体的検討、各種地域関連団体への支援などを展開している

### 〈現状の成果または進捗状況、課題〉

#### ・ 公民館だより『ひこばゆ』

公民館だよりと地域とのつながりにおける反省を踏まえ、「一番身近な地域情報誌」への見直しを図っている。令和7年度は「特集 この地域の「戦争」をたどって」をシリーズ化し、第378号(6月19日発行)では特集のほか、地域の人13名、地域団体1を掲載。自治会から取材を求める声などが得られるようになった。

#### ・ 周西小・周西南中学校区青少年健全育成連絡協議会への支援

地域活動の担い手不足などを背景に、青少年健全育成関連団体等の組織、活動のあり方が大きなテーマになっている。そこで、今年度、定例活動のほか、周西南中学校区学校運営協議会、周西南中学校区地域学校協働本部と連携し、今後の方策の検討についての支援に重点を置き、活発な議論が展開されている。

#### ・ 平和教育関連事業の展開

戦後80年に鑑み、ギャラリーにおける戦争関連資料配架とメッセージコーナーの継続展開、「いつまでも楽しく平和な地域を」をテーマにした文化祭(特別企画は「地元ピースフェス」)の準備を進めている。また、今年度誕生した地域団体「Peace Forever80 Project」の支援に重点を置き、同団体主催の「平和をつなぐピースフェスタ」では「あいあいカフェ」と連携した「ピースあいカフェ」を1週間臨時開催。収益をユニセフに寄付した。

### 〈今後の展開〉

- ・ 公民館だより『ひこばゆ』第379号(12月予定)、第380号(3月予定)
- ・ 周西小・周西南中学校区青少年健全育成連絡協議会については、既存組織、活動の明確化・スリム化等に向けた検討を深められるよう引き続き支援を強化する。(随時)



あいあいカフェの様子



青少年健全育成関連団体等との懇談会の様子

# 八重原公民館 令和7年度事業経過報告(令和6年度答申を受けて)

## 1 今年度の重点取組分野について

### 「地域活動の担い手育成と地域団体とのネットワーク構築」

地域への関心・理解を深める事業を実施し、地域住民が公民館活動に参加するきっかけを作る。継続的に公民館活動に参加する人を増やし、地域活動の担い手となるような人材の育成を図る。

自治会や子ども食堂といった地域団体の活動を支援し、具体的な連携の機会を持つことで公民館とのつながりを強め、今後の地域づくりを見据えた関係性の構築を目指す。

※主な予定事業：地域再発見事業、館報八重原、地域団体・関係機関との連携事業

## 2 重点取組分野の進捗状況

### (1) 課題解決学習推進事業

#### 〈概要〉

- ・家庭教育学級「八重の桜」(乳幼児～小学生の子を持つ保護者対象)

家庭教育学級はコロナ禍以降参加者数が低迷しており、単発開催・各回募集を試行するなどして参加者確保を目指したが、大きな効果がなかった。答申においても「家庭教育学級など同じ課題を抱える人々のつながりを、時間をかけて深めていく事業が少なくなっている」との課題が挙げられたことから、今年度は以前のような通年開催・学級生を主体とした体制に戻したところ、21名の学級生を迎えて実施することができた。

毎回の企画運営には学級生が主体的に関わり、学級生同士の話し合いを大切にしている。子育てや家庭に関する悩みや課題を一緒に考え、学びあうことができる地域の仲間づくりの場を目指していく。

#### 〈現状の成果または進捗状況、課題〉

6月26日 第1回 「開級式&レク」 参加者 18名

7月14日 第2回 「多肉植物の寄せ植え」 参加者 12名

8月19日 第3回 「ジュース実験室&水遊び」 参加者 大人14名 子ども18名

#### 〈今後の展開〉

学級生が主体となって学級を進めていくとともに、文化祭で出店することにより、地域とのつながりも深めていく。



多肉植物の寄せ植え



水遊び

## （２）コミュニティ活性化事業

### 〈概要〉

#### ・地域団体との連携事業

答申では「公民館の若年層の利用率の低さ、地域における若年層の交流づくりが不十分」「地域団体との協力、連携による事業が薄い」といった課題が挙げられている。また、これからの公民館について「誰にでも開かれた居場所・活躍の場所であること」が提案されている。

昨年八重原公民館で活動を始めた地域食堂「やえはらキッチン」と協働し、夏季休暇中の開催日において中学生ボランティアの募集、ボードゲーム大会を合同企画として実施した。団体との連携・協働による地域の居場所づくり、中学生が地域と関わるきっかけづくりを目指した。

### 〈現状の成果または進捗状況、課題〉

８月２日（土）開催 中学生ボランティア２名、来場者１２４名（大人７０名子ども５４名）

会場では子どもと大人と一緒にゲームに興じる姿が見られ、多世代交流の場となった。来場者は回を重ねる毎に増えており、食堂の開催が地域に定着してきていることが伺えた。中学生のボランティア参加は２名にとどまり、声掛けの工夫が必要である。

### 〈今後の展開〉

次年度に向け食堂開催日に合わせた事業の実施やボランティア募集の拡大を検討する。「地域の居場所、活躍の場づくり」「若年層とのつながり」といった目的を団体と共有し、支援と連携の両面で協力体制を築いていく。また、公民館で行っている事業や日常的な関わりの中で小中学生とのつながりを持ち、地域活動への関心を育てる。その他の地域団体とも連携の機会を探り、公民館の「つなぐ」機能を活かして様々な人材を地域活動に結びつける工夫を図っていく。



中学生ボランティア募集



ボードゲーム大会

## 周西公民館 令和7年度事業経過報告(令和6年度答申を受けて)

### 1 今年度の重点取組分野について

#### 「地域づくりへのアプローチ」

令和6年度より、本市の新たな地域づくりの仕組みとして「きみつ地域づくり協議会」制度が開始され、周西地区では同年6月より設立準備会の動きが始まっている。そこで当館では、令和6年度君津地区公民館運営審議会の答申を踏まえ、地域づくりに取組む住民、団体への伴走支援を進めるとともに、多様な方々が地域づくりに参加できるきっかけづくり、関連する学びの機会の創出、新たな動きに向けた地域機運の醸成を図る。

※主な予定事業：周西地区地域づくり協議会支援事業、地域課題解決支援事業 等。

### 2 重点取組分野の進捗状況

#### (1) 周西地区地域づくり協議会支援事業

##### 〈概要〉

- 令和6年度より、市の地域づくり協議会の制度が開始され、周西地区では同年6月より設立準備会の取組が始まっている。
- 令和6年度答申においても「地域づくりに取組む住民、団体への支援は、公民館の重要な本来的業務の一つです。行政の地域づくり担当課、各部局と積極的に連携し、住民や団体へ段階的、積極的、継続的な支援を望みます。」との指摘があり、段階に応じた8つの視点が提示されている。
- これらを受け、地域に住んでいる人やその地域に関心を寄せる人が、主体的に「地域づくり」に取り組むことで、更なる地域コミュニティの活性化と多様な住民自治（地域自治）の実現を目指すため、地域づくり課との連携により、協議会設立に向けた動きと運営の支援に取り組んでいる。

##### 〈現状の成果または進捗状況、課題〉

###### ■進捗状況

###### ○設立準備会（会議）支援

- |        |      |                         |     |
|--------|------|-------------------------|-----|
| ・4月14日 | 第12回 | グループ企画の発表と意見交換          | 18名 |
| ・5月21日 | 第13回 | グループによる企画検討             | 13名 |
| ・6月4日  | 第14回 | グループ企画の発表と協議会設立に向けた意見交換 | 17名 |
| ・6月24日 | 第15回 | 協議会の全体事業計画について          | 12名 |
| ・7月23日 | 第16回 | 協議会の全体事業計画・規約について       | 16名 |
| ・8月27日 | 第17回 | 設立総会について                | 15名 |

###### ○その他の支援

- 運営チーム会議（いわゆる役員会）実施支援 8回（4～9月）
- 発足後を見通した事業（“あれカフェ”）の試行支援 4回（5～8月）
- 新規団体発足に向けた地域への説明支援 8か所（6月～9月）
- 新規団体発足に向けた会員募集周知（市HP、公民館Facebook、チラシ）8月1日から
- 広報紙「周西地区設立準備会だより③」発行（8月）

## ■課題とこれから

これまでは準備段階としての支援であったが、団体発足後は支援のアプローチを変化させていく必要がある。既存の地域団体とは異なる動きをする団体となること、活動が本格的に始まり課題がより具体化してくることなどが想定される。令和6年度答申にある8つの視点を基に、今後の支援の在り方を実践と試行錯誤を重ねながら検討していく。

### 〈今後の展開〉

- ・9月28日（日）周西ファンBASE 設立総会



設立準備会会議の様子



メンバー作成会員募集チラシ（一部）

## （2）地域課題解決支援事業

### 〈概要〉

- ・令和6年度公運審答申において言及のあった、①周西地区の課題として挙げられた「つながり・コミュニケーション」 ②地域課題解決と活性化に資するこれからの公民館として提案のあった「誰にでも開かれた「居場所」「活躍の場所」であること」の2点へアプローチする
- ・地域づくり協議会の動きに合わせた、支援・機運醸成・連携の動きとなることを目指す
- ・公民館のギャラリー及び芝生のエリアの新たな活用方法を有志住民と一体となって検討し、実装する。（座談会・相談会や茶話会、サークルの体験、居場所空間、マルシェ的なイベント、「本」イベントなど、オープンな形で活用することを想定。）
- ・「場」の活用のノウハウを地域住民に蓄積し、公民館ではない場所（例：自治会館）などへ将来的に展開をすることを目指す。

### 〈現状の成果または進捗状況、課題〉

- ・令和7年8月、プロジェクトメンバー募集

### 〈今後の展開〉

- ・令和7年11月より、プロジェクトメンバーによる学習会を実施。その後の企画検討を経て、令和8年度より試行予定。



募集チラシより（一部）

## 周南公民館 令和7年度事業経過報告(令和6年度答申を受けて)

### 1 今年度の重点取組分野について

#### 「地域への関心拡大と担い手育成」

自治会活動や地域活動の実態を把握しながら、担い手となる人材発掘や人材育成につながる事業に取り組む。あわせて地域づくりの入り口になるような、多世代の交流と学びの機会づくりを進める。

※主な予定事業：「自治会学習活動応援事業」、「館報ひろば」、「ふるさと運動事業」等

### 2 重点取組分野の進捗状況

#### (1) 「周南地区自治会活動団体調査」(ふるさと運動事業)

##### 〈概要〉

- ・地域の活動を次世代に知ってもらうための基礎資料として、各自治会内で活動する多様な活動についての調査を行う。
- ・令和6年度の答申書において、公民館と地域団体との関わり、支援に固定化傾向がみられることが挙げられており、より良い地域団体への支援について考えていく上でも活用できると考えられる。
- ・調査にあたっては、地域活動委員を中心に進めている。今年度は委嘱替えの年にあたり、長年関わっていた地域活動委員が数多く入れ替わったこともあり、調査によって委員自身も地域を知るきっかけにもなればとのねらいもある。

##### 〈現状の成果または進捗状況、課題〉

調査については以下のスケジュールで進めており、まだ収集段階となっている。

6月18日(水) 第2回地域活動委員会 概要確認

6月～ 地区内活動の調査、記録の実施

##### 〈今後の展開〉

10月18日(土) 第4回地域活動委員会 調査経過確認

12月26日(金) 調査票提出締切

2月中 第5回地域活動委員会 調査のまとめ

- ・集めた情報については、活動の傾向、携わっている人材、課題等を整理し、周南地区の実情に沿った活動支援や人材育成事業につなげていく。あわせて自治会等地区内の団体や機関とも情報共有を図っていく。
- ・現状では基本事項の調査であるため、調査結果をどのように掘り下げ、活用していくかについては地域活動委員等と協議していく。

#### (2) 地域への関心を広げる事業(館報ひろば発行事業、親子de冒険山)

##### 〈概要〉

令和6年度公運審答申において「地域活性を担う世代、日頃地域に無関心の人たちに、地域への関心を深める働きかけを行う必要がある」との指摘を踏まえ、以下2事業について特

にその点を意識し事業に取り組んでいる。

□館報「ひろば」発行事業

- ・地域の出来事・行事・産業・文化活動・すべての分野をとらえ、住民の紙面参加を第一とすることを前提に、編集委員会体制を組んで発行している。
- ・年4回発行／フルカラータブロイド版4面／毎戸配布の他、小中学生にも配付。

□親子 de 冒険山

- ・近年取り組めていなかった子育て世代を対象とした連続事業として実施。子どもと楽しめる体験活動を主軸に置き、地域に目を向けるきっかけとなるようなテーマや人材を取り入れた内容としている。
- ・特別企画含む全4回を予定。

〈現状の成果または進捗状況、課題〉

□館報「ひろば」発行事業

- ・第285号(6/19)：新生「第4分団」始動、顔、第22期青少年相談員紹介、戦後80年・昭和100年ご長寿に聞く、災害時孤立可能性集落に物品配付、シリーズけもの、各機関・団体役員紹介 他
- ・取材や聞き取りを積極的に行うことで、地域の動きや情報について以前よりも多く掴むことができるようになっていく。
- ・一方で地域に関心のない層の目に情報が届いているのかは把握できていない。

□親子 de 冒険山

- ・第1回 8/9(土)「真夏のひんやり実験」 7組 18名

〈今後の展開〉

□館報「ひろば」発行事業

- ・「周南地区自治会活動団体調査」の結果も活用しながら、これまで取り上げてこなかった人材や活動にスポットをあてて、紙面に登場させていく。

□親子 de 冒険山

- ・今後の実施予定

第2回 9/20(土)「はじめてのジビエ料理体験」(特別企画：八重原公民館と共催)

第3回 11/30(日)「山で遊ぶ～裏山ロープウェイづくり～」

第4回 1/18(日)「探検！周南の名所」

- ・事業終了後、参加者や小学校の保護者等呼びかけ、次年度に向けての企画を当該世代と一緒に組み立てていけるよう進める。



第2回地域活動委員会議(団体調査の協議)



親子 de 冒険山の様子(第1回)